

法人（事業所）理念		・（法人理念）「共に生きる」社会の実現 ・（事業所理念）どの子どももきらきら輝く、みんながきらきら輝く「きらきら園」					
支援方針		・こころやかからだの発達がゆっくりだったりアンバランスさがあつたりする就学前のお子さんに療育を提供し、成長・発達を促進していきます。 ・保護者支援として子育てや発達について必要な知識や情報を提供するとともに、保護者同士が子育ての悩みや喜びを語り合え、子育てを共有出来る場にします。 ・お子さんやご家族をとりまく関係機関や地域と連携をとりながら支援します。さらに、地域の発達支援の中核的な相談機関として機能し、地域のネットワークづくりをめざします。					
営業時間		8 時	30 分	17 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・ロッカーなど自分の物の置き場所がわかり、自分で片付けや準備ができる環境をつくれます。 ・トイレ、衣類の着脱等を自分からやってみたくなるように関わり、見守りながらサポートします。 ・「できる」を繰り返し、たくさん経験することで、自分への手ごたえを積み重ねます。 ・創作など机上の活動の際には、「やってみよう」という気持ちができるように椅子や道具の工夫をします。					
	運動・感覚	・体をたっぷり使う遊びを通して、できた嬉しさと手ごたえを積み重ねます。 ・公園の遊具、室内ではトランポリンや大きなすべり台、吊りブランコ等、夏には水遊びを楽しみます。また、園庭の砂遊び、感触あそびや製作にも取り組み、手先を調整したり、道具を操作したりする経験を積んでいきます。					
	認知・行動	・「わかった」と感じられるように発達段階や特性に合わせて伝え方を工夫します。活動の見通しがもてるように、必要に応じて具体物や写真を見せながら伝えます。					
	言語 コミュニケーション	・職員との楽しいやりとりや遊びの中で人への期待感を高め、伝えたい思いがふくらむように関わります。 ・伝えてくれた思いに共感し、やりたいことを受け止めていくことで伝わった嬉しさや安心感をたっぷり感じられるようにします。 ・職員が思いをくみとって代弁したり、伝え方のモデルを示したりしていきます。					
	人間関係 社会性	・好きな遊びを職員も一緒に楽しみながら、「嬉しい」「楽しい」気持ちを共有することで信頼関係を深めていきます。 ・伝えてくれた思いや要求を受けとめ、共感したり、かなえたりします。 ・友だちと遊び合う楽しさを感じられるように、職員が間をつないだり、やりとりのお手伝いをしたりします。					
家族支援		・療育に参加していただいたり、活動の様子を報告したりすることを通して、お子さんの言動にこめられた思いや、持っている力を発揮できるかわり方について一緒に考えます。 ・保護者同士での交流や学習会、先輩保護者との懇談会等を実施します。 ・相談支援専門員と協力し、就労の事業所やグループホーム等の見学の機会を持ちます。 ・ごきょうだいの一緒に登園する機会には、園で楽しい時間を過ごすことができるように配慮します。 ・ご家族からの相談に随時対応します。			移行支援		・併行通園先の保育園や幼稚園で理解され、必要な支援を受けられるよう、情報共有を行います。 ・学校や放課後支援事業に書面等で情報提供を行います。
地域支援・地域連携		・児童発達支援センターとして、市内在住のお子さんご家族からの相談に応じます。 ・子育て施設（保育園や認定こども園、幼稚園等）からの相談に応じインクルーシブの取り組みをサポートします ・事業所（児童発達支援事業・放課後等デイサービス）への訪問支援を行い顔の見える関係づくりを図るとともに各事業所における質の向上をサポートします。 ・地域の子どもはぐくみ室が主催する乳幼児健診フォロー事業に参加し、相談に応じたり早期に支援につなげたりします。 ・子どもネットワーク連絡会議、南部自立支援協議会に参加し地域の関係機関と連携します。			職員の質の向上		・法人内研修…法人研修センター主催のキャリアパス研修や福祉全般に関する研修を受講したり、実践発表会に参加したりします。 ・事業所内研修…福祉施設職員として必要な虐待防止・感染予防・救急救命等の研修、児童発達支援全般に関する研修を受講します。 ・専門研修…専門性を高めるため、実践検討の場を設けたり、外部研修の受講や施設内での伝達研修を行ったりします。
主な行事等		・春や秋には外遊びをはじめ、夏には水遊び（プール活動等）を行う等、五感を刺激する季節に合わせた活動を行います。 ・季節に応じた楽しいプログラムを療育の中で実施します。					